

OB・OG部会



教え子の皆さんの力を、補習授業校に！

2025/1/12 年度末報告会

OBOG部会



・詳しくは[こちら](#)で



【部会の目標】

① 授業や学校全体のイベントにより**在校生・教職員とOBOGのネットワーク**を作り、**在校生のモチベーションアップ**と**補習授業校のPR**につなげる。

② OBOGを対象とした**アンケート・インタビュー調査**を実施。

補習授業校の教育の成果検証を行い、グローバル人材育成への役割を明確にする とともに、上記①に協力できる**OBOGをリクルート**する。

【進捗状況】

☆OBOG対象アンケート 実施済み(2023年12月～2024年2月)回答者354名

結果はAG+サイトでも公開しています。

☆2024年度は部会委員によるOBOGインタビュー調査を実施(継続中)

OBOGの授業参加やイベントについて提案をいただき、2025年度からの実施につなげています。

☆OBOGをつなぐネットワーク作りについても工夫をしていきます。

教え子の皆さんの力を、ぜひ補習授業校に！

OB・OG部会の目標

①OBOGやその保護者による、授業やイベントへの参加により、補習授業校在校生・保護者への情報提供やモチベーションアップにつなげる。

②OB・OGを対象としたアンケート・インタビュー調査を実施、補習授業校の教育の成果検証を行い、グローバル人材育成への役割を明確にする。

＜対象＞年齢制限はなし

- ・卒業しなくても、在席して退学した児童生徒も調査対象とする。
- ・日本に帰国した子どもだけでなく、海外にいるOB・OGも対象とする

③OB・OGのネットワークを形成し、補習授業校のサポート体制を作る

OB・OG部会メンバー(敬称略)

亥本 房子	ヒューストン	幼高436 小学部2年生
ウンターベルガー玲子	ウィーン	幼中56 小学2年生
大橋 由貴	ダラス	幼高598 高1担任
後藤 豊実	クリーブランド	幼高97 代行要員、行事委員
ダン奈津子	シカゴ	幼高616 高3年担任(数学) 高等部主任
浜田 佐知	カンザスシティ	幼中34 小1
藻谷容子	ポートオブサクラメント	小5(国語)、中2(国語)、教務主任
委員長:	東京都立大学 岡村 郁子	
JOES担当	芝田 進	

1. アンケート調査の実施(2023年度)

【調査時期】2023年12月17日～2024年2月20日

【質問方法】Googleフォームを用いたオンライン調査

【回答者数】354名

【質問内容】

- ・年齢・性別・現在の職業/学校の状況・出生地、居住地、日本での居住経験と年数、使用言語・補習授業校に在籍していた学年、・好きだった/苦手だった教科・イベント等
- ・在外時に使用していた補習校以外の日本語学習方法、・塾やお稽古事等・現在の職業、将来のキャリアへの希望・補習授業校に通っていた理由
- ・補習授業校に求めていたもの・補習授業校に通っていたことで良かったこと、現在に役立っていること
- ・補習授業校に在籍している後輩へのメッセージ・補習授業校教員へのメッセージ
- ・インタビュー調査への協力、補習校の授業や講演への協力の意向



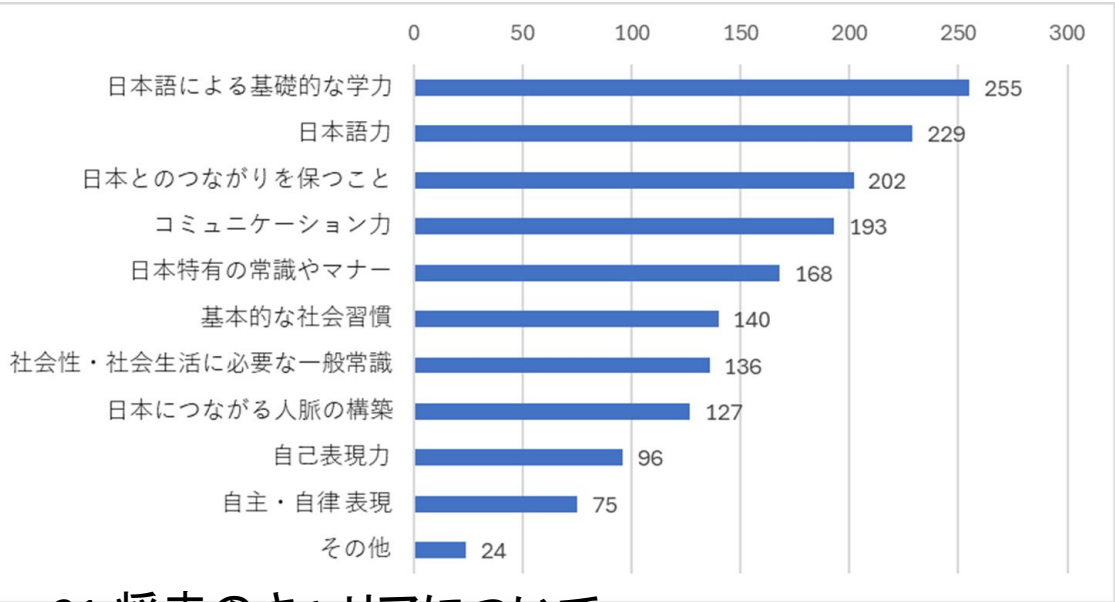
◆ 結果の詳細は資料をご覧ください。補習校ネットやAG+のサイトでも公開しています。

4. 現在の仕事や学業の状況を選んでください What is your current employment status?

354 件の回答



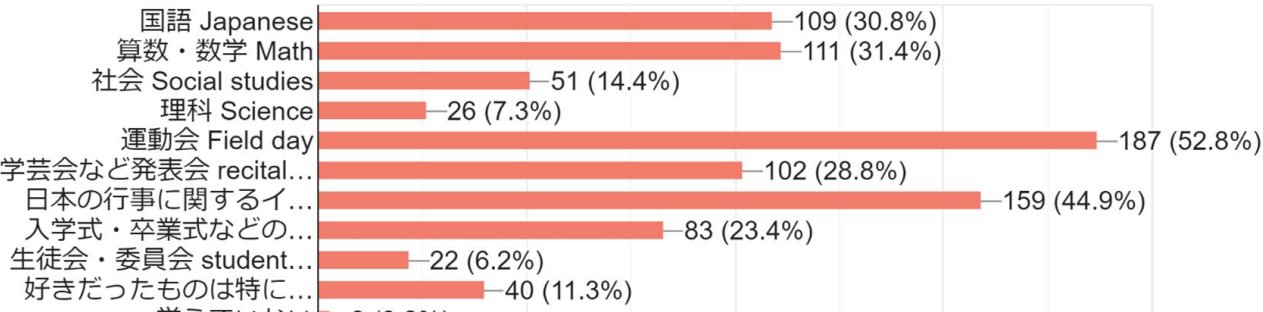
18. 補習授業校の教育に求めているもの



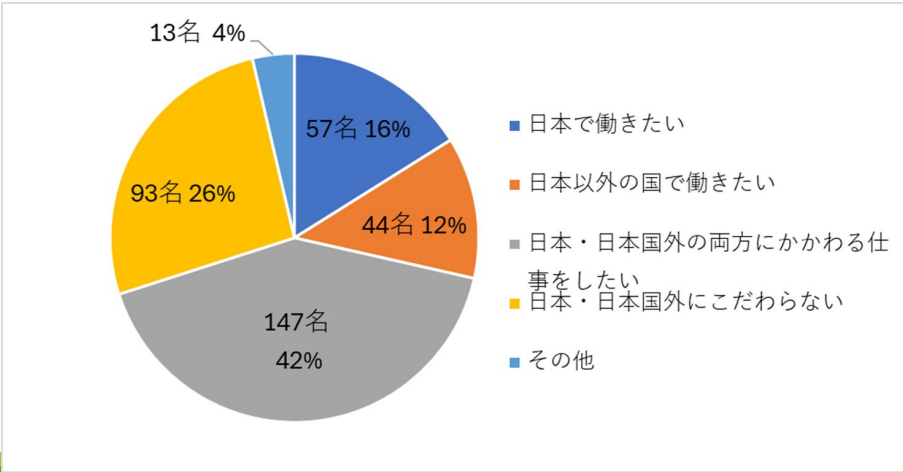
16-1. 補習授業校で、好きだった科目やイベントなどを選んでください（複数回答可）

What was your favorite part of the supplementary education school? Please check all that apply.

354 件の回答



21. 将来のキャリアについて



2. インタビュー調査の実施(2024年度)

- ◆ アンケート調査協力者のうち、「インタビューへの協力可」としてくださった方々に声をかけて、OBOG部会委員によるZOOMインタビューを実施、現在も調査を継続中。

- ・現在までに、 23件・合計30名あまりへのインタビューが終了

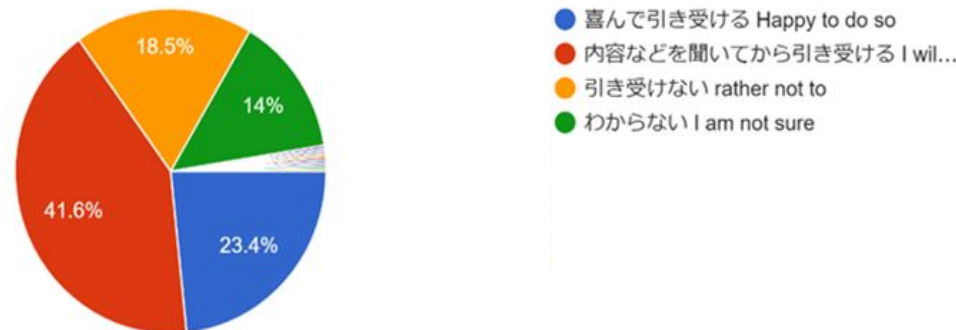
【目的】

- ① アンケート調査のフォローアップ
- ② OBOGがどのような形で補習校に関われるか ⇒ アイディアの募集
- ③ OBOGのネットワーク作りについての意見聴取

インタビュー調査におけるOBOGからの提案(1)

- 在校生のための講演会（自身の在学中に卒業生が卒業後の話をしに講演に来てくれたことがとても励ましになった経験から）
- 保護者を対象とした、補習校の宣伝、相談。（実際、補習校に通わせようかと迷っている保護者の方々を対象に）
- ゲストスピーカーとしての授業参加（大学や職業について、補習校の勉強の大切さについて、自分の経験について等）
- 進路情報の提供、大学入試の面接練習お手伝い、自分の高校編入経験談など

22 在籍した学校での授業への参加や講演等への協力の可否



質問紙に回答したOBOGのうち65%が
補習校在校生や保護者のために
協力したいと回答

インタビュー調査におけるOBOGからの提案(2)

- 自分自身の経験をこれから海外へ行く人たちに話す。(海外子女教育財団でのボランティア)
- 生徒たちのプレゼンを聞いてフィードバック。リアルタイムでもオンラインでも。
- 大学生など、若い卒業生が在校生にかかわることが効果があると思う。
- 行事・イベントの手伝い、ボランティア
- 気軽に遊びに行く。ちょっとした挨拶だけでも、どんな先輩がいるのか、分かることはいいのではないか。
- アニメ・漫画・日本文学などの紹介をする特別講演(日本語で触れる楽しさを伝える)
- 職業カタログ作り(中学国語)。生徒の興味のある職業について、インタビュー可能な人のリストを作る

3. 2024年度 OBOG参加による活動報告

ダラス

- ・パネルディスカッション
（大学生卒業生）
- ・講話会（社会人卒業生）

ウィーン

- ・OBOGリストへの登録開始
- ・卒業生と交わるイベントを放課後の活動として企画

サクラメント

- ・ポジティブ部企画「APとは」
- ・ボランティアとして教室で先生の手伝い

クリーブランド

補習校サイトに「卒業生の紹介コーナー」を作ることを提案。

カンザスシティ

- ・「終わりの会」で先輩の話を聞く
- ・日本祭でのボランティア活動
- ・OBOGによる補習校でのボランティア活動
- ・親子同窓会、子育て手記の共有
- ・運営委員主催のコーヒーサロンでOBOGの保護者を招いて講話

シカゴ

- ・卒業生による大学受験準備アドバイス会

ヒューストン

- ・OBOGボランティア活動
- ・キャリア講演会
- ・ネットワーク作りの検討



ヒューストン

インタビュー

「人間関係や社会性を学ぶことの意義の方が大きい」「宇宙飛行士によるセミナーや文化的な行事、課外活動での経験が価値観に影響を与えた」「多様性を知るきっかけとなった」「日本人としてのアイデンティティを確立する場」の声。

学習の場を提供するだけではない「コミュニティー・人間関係の形成の場」としての補習校の役割を認識する機会に。

課題: アンケートの実施方法(周知方法含む)について

学校システムを利用したアンケート調査の限界

キャリア講演会(3月15日予定)

①帰国子女によるキャリア講演会
中高等部合同主催・校外講師特別講座

OBOGボランティア活動

授業・運動会など

ネットワーク作りへ向けて

OBOG・保護者・教員・元教員をメンバーとしたグループ作りの検討(情報提供・相談等)

アンケート調査結果フィードバック

グーグルクラスルーム・お便りにて教職員・児童生徒と結果を共有
自由記述欄「後輩へのメッセージ」

カンザスシティ

「終わりの会」で先輩の話を聞く

通常は8:45AMから15分間行われる「朝の会」をせず、8:45AMから授業を始め、授業後に「朝の会」に代わる「終わりの会」を開いて、アメリカの大学院に進学する、日本からカンザスシティ訪問中の先輩の話を保護者も交えて聞いた。

日本祭でのボランティア活動

着物の着付け等のブースでOGがボランティアとして手伝った。
OG間及び補習校関係者との旧交を温め、日本文化や日本語に関心を持つ人々と触れ合った。

OBOGによる補習校でのボランティア活動

本校には高等部がなく、中等部までだが、卒業生の多くが、卒業後もボランティアとして幼稚部や小学部に入り、手伝っている。



ウィーン

イベント部会で企画されたクイズ大会への参加に便乗し、卒業生にも招待状を送りました。本番の前に2回、通常の授業後に放課後クラブと名付けた場で、卒業生と共にウィーン・オーストリアにまつわるクイズを考え準備する機会を作りました。

2回目の準備会では、集まったクイズを実際に使って内輪のクイズ大会を開催しました。副産物として、生徒とOBOGがクイズの準備をしている間に卒業生の保護者と現役生徒の保護者が控え室で語り合うことができ、『にわかお悩み相談会』のような場となったようでした。

問題

ミュージカルでも有名なエリザベートは、オーストリアではシシィという名前で親しまれています。彼女はどこに住んでいたでしょう？

- ① アルベルティーナ
- ② ベルヴェデーレ宮殿
- ③ シェーンブルン宮殿



問題

ウィーンは音楽の都としても世界的に有名です。数々の音楽家たちがウィーンに住み、活躍しました。次の3人は皆ウィーンに住んでいた有名な作曲家ですが、この中でウィーンで生まれた人は誰でしょう？

- ① ベートーベン
- ② シューベルト
- ③ モーツァルト



日本語を話す子供の会 ウィーン補習授業校 特別企画

オンラインクイズ大会 「オンラインクイズ大会～私の町自慢」 参加募集

授業後の時間を使って、オーストリアに関するクイズを作り、世界中の仲間に出題してみよう！

小1クラス以上のお友達であれば、どなたでも参加できます。
卒業生のお友達も参加予定です。

クイズの作り方は先生方がサポートしていただきます。なかなかいいチャンス、ふるってご参加ください。

オンラインクイズ大会とは???

「AG+プロジェクト」のオンラインイベント。4か国5地域の補習校で学ぶ子供たちと一緒にクイズ大会を通して、「日本語を実践的に使う機会作り」「日本語を学ぶ同世代が世界中にいることを知るきっかけ作り」を目的に行われます。

～参加校～

ドイツ(デュッセルドルフ)・セネガル・アメリカ(2校(インディアナ州・ルイジアナ州))・オーストリア(本会)

スケジュール ～子供の会終了後2回の事前学習を通してクイズを作成、本番はご自宅からオンラインで参加していただきます～

1日目 10月25日(金)
17:00～18:00
場所:321教室

顔合わせ、チーム分け
クイズになりそうな素材を考える。
(クイズはみんなで作ります。
(小学校3年生向け))

2日目 11月22日(金)
17:00～18:00
場所:321教室

発表準備
素材を基に、クイズを作り、みんな
で読み合わせ、代表者を決める

本番 12月15日(日)
17:15～18:15
(ZOOMにて各自自宅より参加)

クイズ大会当日
クイズ大会に参加します。(発表者は発表します)

【参加費用】 無料

【参加資格】 日本語を話す子供の会に参加している小1クラス以上の生徒または、卒業生
(10月25日、11月22日、12月15日全日程ご参加ください)

【申込に際し】

- ・専用フォームにて締め切りまでにお申し込みください(2024年10月18日まで)
 - ・保護者は保護者控室でお待ちください。役員はおりませんので、帰りの後片付けなどのご協力をお願いします。
 - ・当日の様子はクイズのみ、AG+のHPで掲載されることがございます。
- (お子様の写真などがHPに無断で掲載されることはありません)



クリーブランド

インタビューの感想

インタビュー協力者について : 色々なキャリアパスをもつ補習校卒業生が参加し、全体的には補習校に好意的な参加者が集まった。

- アメリカ生まれ→アメリカで義務教育→日本の大学進学→日本で就職
- 日本生まれ→アメリカで義務教育を経験→日本の大学進学→アメリカの大学院進学→アメリカで就職
- 日本生まれ→欧州で義務教育を経験→日本でも義務教育を経験→日本の大学進学→欧州の大学院進学

インタビューを通じて見えてきた補習校の魅力 :

- 同じバックグラウンドや似た境遇の友達との人間関係が財産になる
- 日本独特の常識、文化、行事、式典などをアメリカで経験できたことは帰国後にも役に立ち、良い思い出になる
- 家族内では使わないような、別の日本語を、同年代の友人とともに見聞きする貴重な機会だった
- 親以外の大人(先生)と敬語で会話するいい機会になった
- (現地語で苦労した生徒は)息抜きの場、本来の自分に戻れる場所になる



ダラス

パネルディスカッション 国語表現＋進路指導コラボ

24年10月、ダラス補習校の元生徒会長だった現在大学生の二人をパネリストに迎え、パネルディスカッションを開催。

国語表現の「パネルディスカッション」の単元学習として、借用校の都合により、校舎が使えないオンライン授業の日を利用して実施。
約1時間、WEB会議システムを利用して本校出身の現役の大学生が高校時代の過ごし方や大学受験での経験談や大学の様子を紹介した。



ダラス

「第2回 講話会」 国語表現＋進路指導コラボ

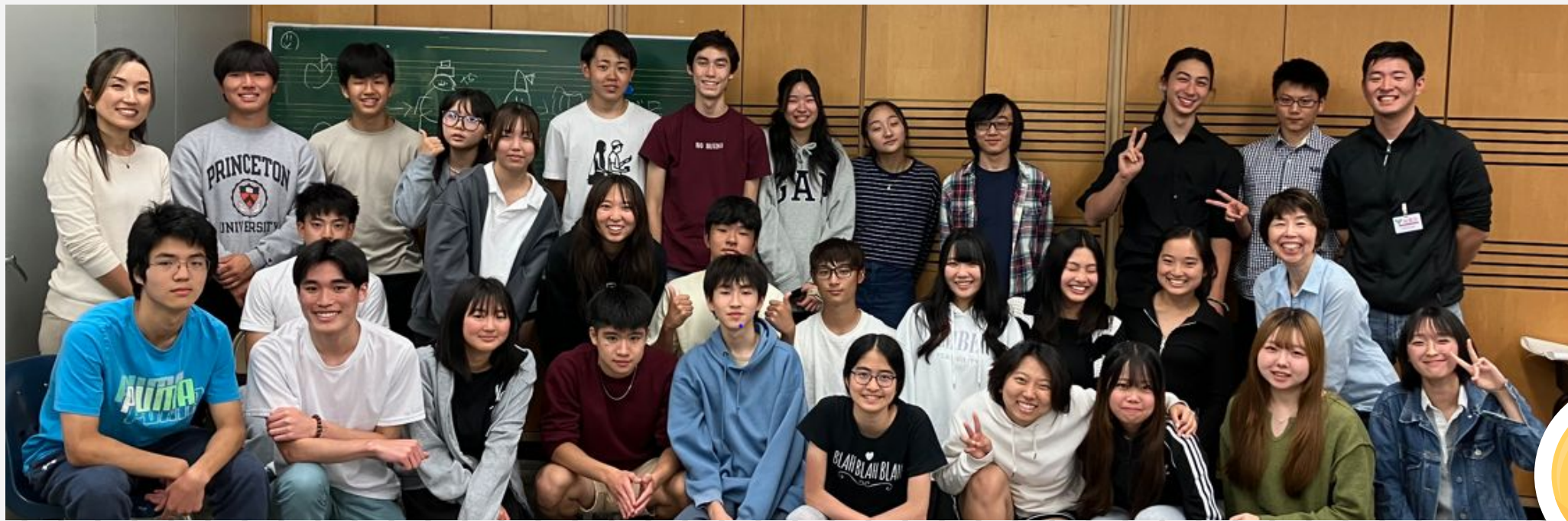
24年11月、ダラス補習校出身で現在、ダラスで公認会計士をしている保護者による講話会を実施。

国語表現の単元「講演会を開こう」の単元学習に、ダラス補習校OBを招き高等部の生徒を対象に講演してもらうことで、生徒主催の講話会を行った。



シカゴ 2024

先輩からのアドバイス会



お昼休みを利用して、先輩からのアドバイスを聞く機会を設けた。

卒業生がシカゴ出張の折に補習校に顔を見せに来てくれた機会をとらえて、急遽昼休みの時間にアドバイス会を設けた。高1で米国に来た彼は当時大変苦労したが、帰国後東大大学院卒業し現在はコンサルティング会社に勤務している。現地校生活をどのように乗り切ったか、希望の大学合格のためにとにかく死に物狂いで勉強することなどの多くの有効なアドバイスを得る機会となった。

ポート・オブ・サクラメント



情報管理・ネットワーク作り

現在OBOG名簿がないが、個人情報も1年毎に交代していく理事会や1教員の管理では難しい。MiiT+ (ミータス) という無料ツールで学校のアカウントを作成してみた。

これまでの活動

- ・23年8月にボランティア保護者グループ「ポジティブ部」主催で、保護者向けの「AP」についての説明と、元在校生の現役高校・大学生によるパネルディスカッションを開催。24年は実施されなかったが、今後も同じような形での OBOG 訪問の機会を設けていきたい。
- ・主にOBOGの現役高校生・大学生対象のボランティア登録制度を整備。イベント時の他、低学年を中心とした教室内での補助をお願いしている。

今後の展望

- ・インタビュー活動を通じ、医師や弁護士、国連職員でアフリカ在住のOBOGらと繋がった。キャリア選択や社会の現状について考える学習活動、中高生・保護者向け講演会などへの協力について前向きな反応を頂いている。
- ・職業カタログ作りや、意見発表会などの授業・課題に聴衆・コメンテーターとして参加を依頼する。
- ・最近の補習校の様子について、OBOGの方に伝えていけるようにしたい。



今後の展望

ダラス

- ・年間行事計画にパネルディスカッションと講話会をいれる。
- ・OBOG名簿の作成
- ・進路指導HP/FBの活用

ウィーン

卒業生を招き在校生と触れ合うためのイベントのアイデアを運営役員、保護者、教師、在校生などから出し合う

サクラメント

- ・OBOG名簿の作成
- ・パネルディスカッションの継続
- ・キャリア・大学進学についての講演会

クリーブランド

ウェブサイトに進路ページを作れるか運営委員会に提案してみる。

カンザスシティ

中等部卒業後どうやって補習校や日本語コミュニティと繋がっているか、学んだ日本語をこれからどういかすかの例を在校生に示す。

シカゴ

- 卒業生によるキャリアについての講演会の継続的实施
- ・卒業生による大学受験準備アドバイス会
- ・OBOG名簿作成

ヒューストン

- ・キャリア教育・講話
- ・OBOGボランティア活動
- ・ネットワーク作り
- ・インタビュー

OBOGをリソースとした実践に関するアンケートにご協力お願いします！⇒

<https://forms.gle/3cwozHe9KTVeCofCA>

<今後の予定>

(1) インタビュー調査の継続

2025年度もOBOGへのインタビューを継続します。

(2) 「OBOGによるイベントアイディア集Ⅱ」の作成

OBOG自身のアイディアを取り込んで、実践のヒントをまとめます。

(3) OBOGを巻き込んだイベントの実施

2025年度 実施にご協力いただける学校: デンバー補習校

(4) 今後のOBOG関連イベントに向けてのネットワークづくり

*** これからもご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします ***

